

○ 令和元年10月豪雨をはじめとする近年の激甚な水害や気候変動による水害の激甚化・頻発化に備え、平久里川水系において、ハード・ソフト一体となった事前防災対策を加速していくために、以下の取り組みを実施していくことで、降雨強度50mm/hr相当の確率規模の降雨によって発生しうる洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。



【平成28年】滝川新橋付近浸水状況



【平成27年】平久里川横峯大橋付近浸水状況

水田を活用した一時貯留（田んぼダム）
ため池やクリークの治水活用

森林等の健全な維持
管理と育成・保全

洪水浸水想定区域図
（公表済）
洪水ハザードマップ
（想定最大規模に更新）

危機管理型水位計
河川監視カメラ
（設置済）

河道拡幅

地すべり対策

危機管理型水位計
（設置済）

河道拡幅、橋梁改築



- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
 - ・河道拡幅、橋梁改築、樹木伐採、堆積土撤去
 - ・地すべり対策、砂防堰堤（整備済）
 - ・森林等の健全な維持管理と育成・保全
 - ・水田を活用した一時貯留（田んぼダム）
 - ・ため池やクリークの治水活用

- 被害対象を減少させるための対策
 - ・立地適正化計画の策定支援

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
 - ・洪水浸水想定区域図、洪水ハザードマップ
 - ・危機管理型水位計、河川監視カメラ
 - ・水害対応タイムラインの活用
 - ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成支援
 - ・防災士養成のための支援
 - ・避難所開設・混雑情報のリアルタイム表示

河道拡幅（滝川における多自然川づくり）



地すべり対策（南房総市増間）※整備済



【凡 例】

- 流域界
- 河川改修
- 砂防堰堤（整備済）
- 危機管理型水位計
- 河川監視カメラ
- 浸水想定（計画規模1/50）

- 平久里川水系では、県、市が一体となって以下の手順で「流域治水」を推進する。
 - 【短 期】河川における対策として、平久里川の河口部（河口～滝川合流点）と滝川の上流部（館野橋～山名川合流点）で河道拡幅を推進する。また、県管理の二級河川において、樹木伐採及び堆積土撤去を実施する。
 - 【中 期】引き続き、平久里川の河口部（河口～滝川合流点）と滝川の上流部（館野橋～山名川合流点）の早期完成に向けて、河道拡幅を推進する。
 - 【中長期】平久里川の下流部（西郷堰～三芳橋）の河道拡幅を推進し、平久里川水系の事業区間について整備完了を目指す。
- あわせて、上流域における地すべり対策、森林等の健全な維持管理と育成・保全、雨水を一時的に貯留する田んぼダム、ため池等の治水利用を促進するとともに、避難確保計画の作成支援などのソフト対策を実施する。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道拡幅、橋梁改築	千葉県	平久里川、滝川の河川改修を実施		
	樹木伐採、堆積土撤去	千葉県	二級河川で実施	定期的に実施予定	
	地すべり対策	千葉県	地すべり防止区域内で実施	地すべりの活動状況に応じて実施予定	
	森林等の健全な維持管理と育成・保全	南房総市	継続して実施		
	水田を活用した一時貯留(田んぼダム)	集落活動組織等	千葉県と関係市が実施主体に対し取組拡大を促進		
	ため池やクリークの治水利用	施設管理者等	千葉県と関係市が実施主体に対し取組拡大を促進		
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画の策定支援	千葉県	策定・見直し支援		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	危機管理型水位計、河川監視カメラ	千葉県	運用状況の検証・定期的に更新予定		
	水害対応タイムラインの活用	千葉県、関係市	運用実績の検証		
	要配慮者利用施設における避難確保計画の作成支援	館山市	継続して実施		
	防災士養成のための支援	関係市	継続して実施		
	避難所開設・混雑情報のリアルタイム表示	南房総市	継続して実施		

【事業費(R3以降の残事業費)】
■河川対策
全体事業費 25.7億円
河道拡幅、橋梁改築等

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進